

エコマネジメント株式会社

2018年度 環境活動レポート

(対象期間：2018年3月～2019年2月)

作成日 2019年3月31日
更新日：

エコマネジメント株式会社

環境方針

<基本理念>

地球規模での環境保護が求められている今、増え続ける産業廃棄物の処理は、深刻な社会問題になっています。また、最終処分場の能力には限界があり、産業廃棄物の発生・抑制・有効利用が求められているところです。エコマネジメント株式会社は、時代の要請に応えるため、産業廃棄物の無害化・減量化・再資源化に取り組んでいます。次世代の地球環境を考えた事業を通じて循環型社会の構築に貢献していきます。物を捨てる時代から生かす時代へ・・・絶えず排出依頼者に対し、アイデアを提供し、環境改善に大いに寄与したいと考えております。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③受託産業廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ④水使用量の削減
- ⑤事務用品のグリーン購入
- ⑥自社廃棄物の削減
- ⑦ボランティア活動の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

制定日：2012年9月1日

代表取締役
阪口 宗平

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 エコマネジメント株式会社
 代表取締役 阪口 宗平
- (2) 所在地
 本 社 和歌山県和歌山市新留丁185
 西浜事業所 和歌山県和歌山市西浜1660番地95
 桃山事業所 和歌山県紀の川市桃山町調月字北嶋2822番13
- (3) 環境管理責任者氏名及び連絡先
 環境管理責任者 常深 清文 TEL:073-422-6513
- (4) 事業内容
 産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業(脱水、中和、破碎、発酵、攪拌、選別)、飼料製造販売業
- (5) 事業の規模
 設立年月日 平成18年3月8日
 資本金 1,000万円
 売上高(平成29年度) 5億5千万円 (平成30年度) 6億7千万円

	本社	西浜事業所	桃山事業所	合計
従業員	8名	9名	8名	25名
延べ床面積	107㎡	575㎡	1038㎡	1720㎡

車両台数	平成29年度		平成30年度	
	台数	台数	台数	台数
8tコンテナ車	4台	4台	4台	4台
10tバキューム車	2台	2台	2台	2台
10tタンク車	1台	1台	1台	1台
10tユニック車	1台	1台	1台	1台
8tユニック車	1台	1台	1台	1台
キャブオーバ車	2台	2台	2台	2台
ショベルローダー	1台	1台	1台	1台
パワーショベル	2台	2台	2台	2台
クランプリフト	1台	1台	1台	1台
フォークリフト	2台	2台	2台	2台
合計	17台	17台	17台	17台

受託産業廃棄物処理量

	平成29年度	平成30年度
	t	t
収集運搬量	19,047	22,575
中間処理量	2,538	2,205

主要設備

名称	台数	能力
フィルタープレスF-20型	1台	9㎡/日
ダライイトタンク	3基	30㎡/日
破碎機 DN-N-15	2台	4t/日
破袋分別機 MK1105	1台	40t/日
攪拌機	1台	3.47t/日
発酵施設	-	27.2t/日

積み替え保管施設(面積:672.36㎡)

名称	保管量	保管品目
西浜積み替え保管施設	12.8㎡	燃え殻
〃	45.0㎡	汚泥
〃	4.4㎡	廃油
〃	15.0㎡	廃酸
〃	28.0㎡	廃プラスチック類
〃	90.75㎡	動植物性残渣

- (6) 事業年度3月～翌年2月

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名: エコマネジメント株式会社
 関連事業所: 西浜事業所
 桃山事業所
 活動: 産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、飼料製造販売業

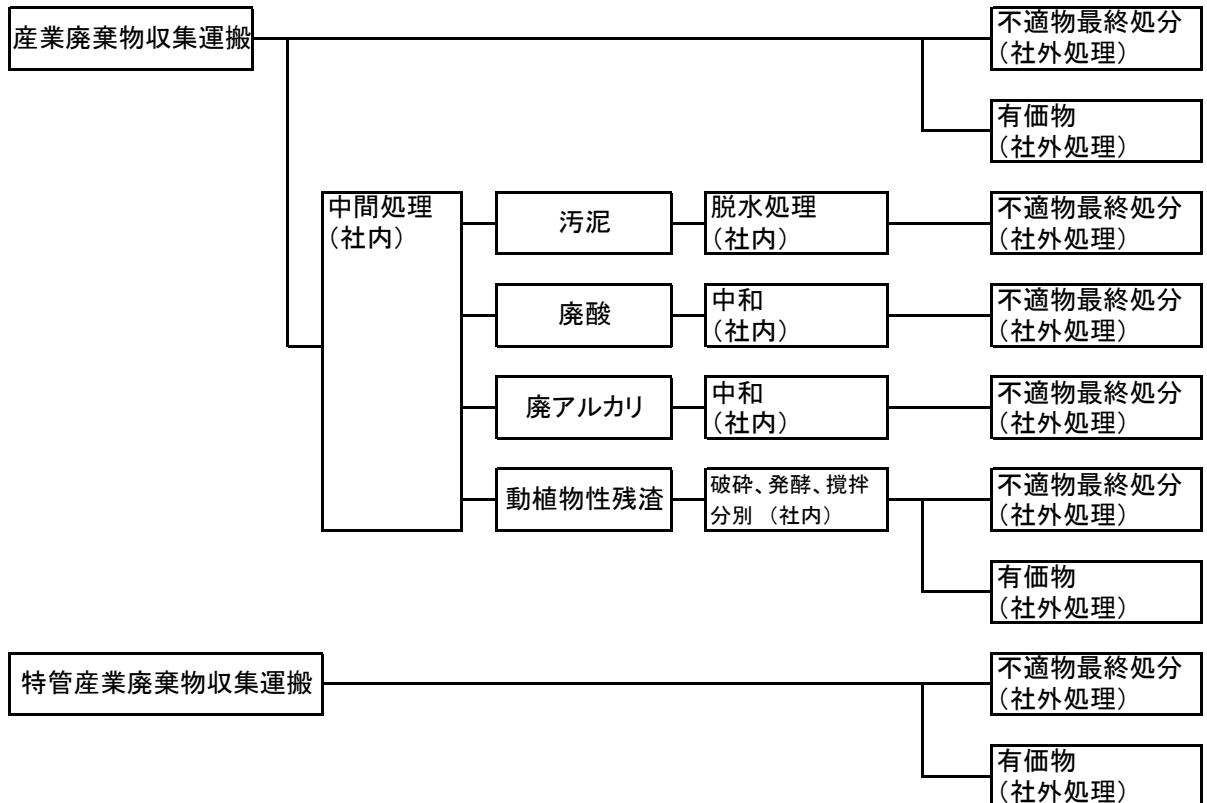
□許可・登録の内容

種類	発行者	許可番号	許可年月日 許可の有効年月日	産業廃棄物の種類																	
				燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	動植物性残渣	金属くず	ガラスくず	がれき類	ばいじん					
産業廃棄物 収集運搬業	和歌山県	第03000126779号	平成28年4月8日 平成33年3月27日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	和歌山市	第07210126779号	平成28年4月19日 平成33年4月17日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	大阪府	第02700126779号	平成28年5月23日 平成33年5月22日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	兵庫県	第02804126779号	平成26年7月30日 平成31年7月29日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	奈良県	第02900126779号	平成29年6月15日 平成34年6月14日	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	岡山県	第03308126779号	平成28年11月4日 平成33年10月29日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物 中間処理業	和歌山市	第07220126779号	平成31年1月30日 平成36年1月7日		●		●	●				●									
特別管理産廃 収集運搬業	和歌山県	第03050126779号	平成28年10月27日 平成33年10月26日			●	●	●													
	兵庫県	第02854126779号	平成26年9月2日 平成31年9月1日			●	●	●													
	岡山県	第03358126779号	平成28年11月4日 平成33年10月29日			●	●	●													

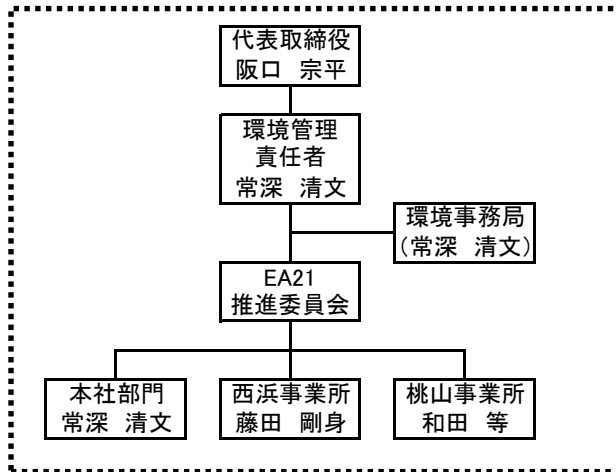
□処理料金

処理料金については、引取場所、品目等により異なりますので、弊社(電話:073-422-6513)までお問い合わせ下さい。

□廃棄物処理フロー



エコマネジメント株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長) 阪口 宗平	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 常深 清文	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局 (常深 清文)	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動計画の検討 ・環境活動実績の確認・評価
部門長 常深 清文 藤田 剛身 和田 等	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2011年 (基準年度)	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	222,570	218,963	219,848	227,475	252,410	263,174	244,593	251,389
廃棄物排出量	トン	12	11	13	13	13	13	13	5.4
一般廃棄物量排出	トン	1	1	1	1	1	1	1	1.0
産業廃棄物排出量	トン	11	10	12	12	12	12	12	4.4
総排水量	m ³	1,360	1,584	1,925	1,654	1,342	3,138	2,325	1,732

※二酸化炭素排出量は、削減目標でない都市ガスを含む。

□環境目標及びその実績

項目		年度		2018年		2019年		2020年	
		2011年 (基準年度)	2016年 (実績)	2017年 (実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	18,884	20,907	22,814	—	23,077	—	—	
	基準年度比	(2011年)	111%	121%	—	122%	—	—	
	kWh/t	17.66	—	—	17.48	20.56	17.31	17.13	
ガソリン・軽油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	203,617	241,939	221,376	—	227,998	—	—	
	基準年度比	(2011年)	119%	109%	—	112%	—	—	
	km/L	3.30	—	—	3.33	3.42	3.37	3.40	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	222,501	262,846	244,190	—	251,075	—	—	
	基準年度比	(2011年)	95%	90%	—	44%	—	—	
	t	1,248	1,185	1,118	1,161	548	1,148	1,136	
コピー用紙の削減	kg	68.7	59.9	58.8	63.9	56.5	63.2	62.5	
	基準年度比	(2011年)	87%	86%	—	82%	—	—	
	m ³	1,360	3,138	2,325	—	1,732	—	—	
節水	基準年度比	(2011年)	231%	171%	—	127%	—	—	
	m ³ /t	0.92	—	—	0.91	0.79	0.90	0.89	
	基準年度比	(2017年)	—	—	—	86%	—	—	
事務用品のグリーン購入	比率	4.0%	22.4%	17.1%	6.4%	18.9%	6.8%	7.2%	
	基準年度比	(2012年)	560%	428%	—	473%	—	—	
社会貢献 会社周辺の清掃活動	回/年	—	12	12	12	12	12	12	
	基準年度比	(2012年)	100%	100%	—	100%	—	—	

電力の二酸化炭素排出係数：0.509 kg-CO₂/kWh

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・数値目標	未達成	増加しているため、さらなる意識の向上をしていく。増加の原因としては、飼料製造の増産が考えられる。
・不要時の消灯	○	
・未使用機器の電源OFF	○	
・高効率蛍光灯、LDE照明の導入	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・数値目標	達成	使用量の削減は出来なかったが、燃費の向上を図ることが出来た。エコドライブ等、意識の向上が出来ているので、今後も継続して削減に努めていく。
・エコドライブの励行	○	
・アイドリングストップの励行	○	
・配車計画の合理化による走行距離短縮	○	
受託産業廃棄物の最終処分量の削減		
・数値目標	達成	削減出来た。飼料製造への有効利用が出来ているので、今後も継続して削減に努めていく。
・分別の細分化	○	
・リサイクル業者の開拓	○	
コピー用紙の削減		
・数値目標	達成	削減出来た。今後は自社の産業廃棄物を含めて削減に努めていく。
・使用済みコピー用紙の再利用	○	
・両面コピーの利用による用紙の削減	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
節水		
・数値目標	達成	削減出来た。水の出っぱなしを無くす等、意識の向上が出来ているので、今後も継続して削減に努めていく。
・節水シールの貼り付け	○	
・雨水利用による洗車・清掃	○	
グリーン購入		
・数値目標	達成	達成出来た。購入時の意識向上が出来ているので、今後も継続していく。
・環境ラベル認定等製品を優先的に購	○	
社会貢献		
・数値目標	達成	今後も継続していく。
・会社周辺の清掃活動	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（汚泥、廃酸、廃アルカリ、廃プラ、廃油等）の収集運搬・中間処理
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
和歌山県公害防止条例	粉じん飛散の防止
自動車NOx・PM法	排気ガス規制
大阪府条例（流入車規制）	排気ガス適合車両
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラック
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫などの適正廃棄とリサイクル
フロン排出抑制法	業務用空調機の定期検査、廃棄時の適正処理
毒物及び劇物取締法	苛性ソーダ（水酸化ナトリウム）の適正な貯蔵及び取扱い
消防法	少量危険物貯蔵庫での廃油の適正な貯蔵及び取扱い

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去5年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

環境目標の見直しをし、新たに目標設定(原単位)をした中で、自動車燃料による二酸化炭素排出量並びに水道水の削減は改善、達成出来たので、今後も継続してもらいたい。
電力の削減に関しては、飼料製造に伴う電力使用量の増加があり、未達に終わっているが、節電等今後も活動を継続してもらいたい。

エコフィード飼料の製造

工場から排出される植物性残渣を利用し、エコフィード飼料を製造し、県内の畜産農家さんにお届けしております。



LED照明への交換



LED照明に交換し、電力の削減に取り組んでいます。

ボランティア活動

会社周辺の清掃はもちろんのこと、ボランティア活動として、毎年、児童養護施設の雑草除去作業をしております。



収集運搬車両の入れ替え（デジタルタコメーター搭載車）



次回環境活動レポートの発行は、2020年4月を予定